



消防団たずね歩き

開拓精神を受け継ぎ団結して活動

岩岡町は面積11km²、現在の人口約14,300人、神戸市の最西端に位置し、南に明石市、西に稲美町が隣接しています。以前は「ここが神戸市ですか?」と言われることもよくありました。印南野台地の一部にあたり、1600年代に開拓されました。水に不自由し、1900年代には大規模な疎水事業及びため池の整備がおこなわれ、水稲や一般的な農作物も栽培できるようになり、現在はキャベツ、無花果、トマトなど多く栽培されています。先人たちの功績に感謝し、3月10日を「岩岡開発記念日」として毎年、記念式典がおこなわれています。10月の岩岡神社祭りも盛大で、8基（一部の神出町含む）の布団太鼓が集まり、消防団員も担ぎ手や獅子舞などで活躍しています。

昔からの伝統的な雰囲気や、のどかな田園風景（市街化調整区域）を残しつつも、岩岡町の南部においては、工場や大型商業施設も建設され、開発も進んでいます。

岩岡支団は毎年、岩岡幼稚園の「防災避難訓練」に参加しています。園児たちは放水体験や積載車搭乗体験などで防災に興味を持ちながら学んでいます。また、岩岡小学校の消火訓練にも参加。児童たちは防災意識を持ち、消防団の大切さを学んでいます。

19年前の阪神・淡路大震災の際には、岩岡町は比較的被害も少なく、市街地への消火応援、救援物資の運搬等をおこないました。その経験を生かし、将来起こりうる南海トラフ巨大地震発生の危険に対応するため、西消防団でも支団相互の応援、また市街地への応援体制の確立に向けて基本計画、活動マニュアルが策定されました。

津波の被害を受けにくい岩岡町には応援活動が期待されています。先人の開拓精神を受け継ぎ、団結して防災活動に取り組み、町内、さらに市街地へ向けての応援体制も整えていきたいと考えています。

（岩岡支団 分団長 安福元章）



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

